

ばれいしょのトマトキバガ(新寄主)

令和7年8月上旬、長沼町の中央農試で試験栽培しているばれいしょ(品種「コナユタカ」、「スノーマーチ」)において葉の内部が食害され薄皮状になる被害葉が確認された。被害葉を確認した結果、鱗翅目の幼虫が確認された。横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、トマトキバガ *Tuta absoluta* (Meyrick) であると同定された。本種は令和5年に道内でトマトの新発生害虫として報告があったが、ばれいしょでの寄生確認は本邦で初めてとなる。

当該ほ場において、8月中旬では被害複葉率約1%、8月下旬では2%と低く推移した。その後も葉の被害が急激に増加することはなく、また、塊茎への被害も確認されなかったことから、ばれいしょへの収量および品質への悪影響はなかった。

(中央農試)



トマトキバガによるばれいしょ葉の食害 (中央農試 佐々木原図)